

## 社会保険労務士補助講習

■講習期間 9月3日(水)～12日(金) 10:00～16:00  
(最終日は17:00まで)

■場 所 福祉文化会館(西町二丁目)  
■対 象 者 60歳前半層の就職・就業を希望される人  
■募集方法 8月22日(金)までに、鳥取市シルバー人材センターがハローワークにある申込書で  
■定 員 20人 ■受講料 無料

問い合わせ先 (社)鳥取県シルバー人材センター連合会 ☎(0859)37-2531

とっとり県民カレッジ連携講座

## 鳥取環境大学 公開講座 「地球温暖化について考える」シリーズ

### ▶テーマ

「自動車と地球温暖化対策」  
おがさき まこと  
講師：岡崎 誠  
(環境政策学科 教授)

▶と き 8月2日(土)  
10:30～12:00

▶と ころ 県立図書館2階大研修室(尚徳町)

▶申込方法 講座の前日までに、電話・FAX・電子メールのいずれかで問い合わせ先に申し込み

▶参加料 無料

問い合わせ先 鳥取環境大学企画交流課 ☎(0857)38-6704・☎(0857)38-6709・電子メール kouryu@kankyo-u.ac.jp

### ▶テーマ

「工業分野の地球温暖化対策、最先端」  
きまたのあゆみ  
講師：木俣 信行  
(環境デザイン学科 教授)

▶と き 9月6日(土)  
10:30～12:00

## シリーズ vol.20 鳥取環境大学

環境政策学科 / 環境デザイン学科 / 情報システム学科  
http://www.kankyo-u.ac.jp/  
E-mail:nyushi@kankyo-u.ac.jp

問い合わせ先  
入試広報課  
☎(0857)38-6720

TOPICS  
トピックス

## 「鳥取市入学奨励金」新入生62人に初交付



5月下旬、「鳥取市鳥取環境大学入学奨励金交付式」が本学で行われ、竹内市長から交付対象の新入生62人に入学奨励金交付決定通知書が手渡されました。

これは、本学への入学と優秀な人材の定住化を促進するために鳥取市が今年度創設した制度で、市内出身者、市内高校卒業者を対象に、入学金の半額にあたる12万5千円が交付されるものです。

交付式では、新入生を代表して情報システム学科1年の木村航一さんが、「他大学にはない制度を設けていただき、期待の大きさを感じます。気を引き締めて勉学に励みます」と決意を述べました。また、市長の「鳥取市の若者・環境大学生に期待すること」と題した講演で、「奨励金を有効活用し、鳥取市をみなさんのフィールドとして充実した大学生活を送ってほしい」と激励を受けました。



## 乾燥地研究センター イベント案内

### 平成20年度第1回 一般公開

▶と き 8月23日(土) 16:00～21:30  
▶と ころ 乾燥地研究センター  
▶観覧料 無料 ※ご自由にご覧ください。  
▶内 容 講演会、メロン販売、乾地研〇×クイズ、ナイトツアー など

### きみもなろう砂漠博士

実験などをおして、砂漠化の勉強をしましょう。詳細は、乾燥地研究センターホームページをご覧ください。

▶と き 8月23日(土) 17:00～19:00  
※受付は16:30～

▶対 象 小学校高学年～一般 ▶参加料 無料

▶定 員 20人 ※定員になり次第締切

▶応募方法 住所・氏名・電話番号(小学生は保護者同伴の有無)を明記のうえ、電話・電子メール・FAXのいずれかで下記まで申してください。

問い合わせ先 鳥取大学乾燥地研究センター(浜坂1390)  
☎(0857)23-3411・☎(0857)29-6199  
電子メール sabakuhakase@alrc.tottori-u.ac.jp  
ホームページ http://www.alrc.tottori-u.ac.jp

## 図書館だより

■中央図書館 ☎(0857)27-5182 開館時間 9:00～19:00  
(土・日曜は17:00まで)  
■気高図書館 ☎(0857)37-6036 開館時間 10:00～18:00  
■用瀬図書館 ☎(0858)87-2702 開館時間 10:00～18:00  
※休館日は、毎週火曜日、毎月最終の木曜日、祝日の翌日(中央図書館は除く)

### 「ストーリーテリング研修講座」受講生募集

地域で読み聞かせボランティアをめざす人を対象に、年間5回にわたってストーリーテリングの基礎を学んでいきます。

▶と き 第1回 9月17日(水) 10:00～11:30

▶と ころ 中央図書館 多目的ホール

▶定 員 50人 ※8月31日(日)締切り

申し込み・問い合わせ先

中央図書館 ☎上記・☎(0857)27-5192

### 「子どもと本の出会い」の講座(第4回)

▶と き 9月4日(木) 10:00～11:30

▶と ころ 中央図書館 多目的ホール

▶講 師 末宗辰彦さん(子どもの文化講座主宰)

▶テーマ 「昔話について」

▶定 員 60人 ※申し込み不要。どなたでも参加できます。

問い合わせ先 中央図書館 ☎上記・☎(0857)27-5192

### 鳥取大学・とっとり駅南教室 ☆講話とおしゃべり

と き	講師・演題
第24回 9月6日(土)	やぶたゆきのり 藪田行哲さん(鳥取大学農学部助教) 「活性酸素と抗酸化物質-抗酸化物質の機能について」

時 間 13:30～15:00 と ころ 中央図書館  
参加費 無料 ※定員40人程度。事前予約は必要ありません。

### おわび

とっとり市報7月号で「子どもと本の出会い」の講座第3回の開催時間を誤って記載しておりました。ご参加のみなさんに大変ご迷惑をおかけしたことをおわび申し上げます。

広報室

## 鳥取市の人口

男 : 95,806人 [0]  
 女 : 103,243人 [+29]  
 合計 : 199,049人 [+29]  
 世帯数 : 76,018 [+49]

平成20年7月1日現在 [ ] 内は前月比  
 ※住民登録人口と外国人登録人口を合計した  
 ものです。

### 鳥取市役所

☎(0857)22-8111(代)

☎(0857)20-3040

〒680-8571

(郵便物は郵便番号と課名のみで届きます)

本庁舎 尚徳町116番地

第2庁舎 上魚町39番地

駅南庁舎 富安二丁目138番地4

### 鳥取市ホームページアドレス

<http://www.city.tottori.tottori.jp/>

音声読み上げなどの支援機能があります

### ホームページ抜粋版

(携帯電話対応アドレス)

<http://www.city.tottori.tottori.jp/mobile/>

### 電子メール

[kouhou@city.tottori.tottori.jp](mailto:kouhou@city.tottori.tottori.jp)

### 各総合支所

国府☎(0857)39-0555

福部☎(0857)75-2811

河原☎(0858)76-3111

用瀬☎(0858)87-2111

佐治☎(0858)88-0211

気高☎(0857)82-0011

鹿野☎(0857)84-2011

青谷☎(0857)85-0011

### 編集・発行

鳥取市企画推進部秘書課広報室

☎(0857)20-3159

印刷/日ノ丸印刷株式会社

お持ち帰り用の市報を、地区公民館などに  
 設置しております。どうぞご利用ください。

## 市長からの手紙

Vol.28



(H20.5.10、とりぎん文化会館にて)

### 「山陰海岸ジオパーク」の実現を！

夏本番。きめ細かな砂が特徴の白い砂浜に、透き通ったマリブルーの海が広がる本市の海岸は、今年も多くの観光客でにぎわっています。

鳥取砂丘から京都府網野海岸までの延長約75kmの「山陰海岸国立公園」は、その変化に富んだ景観で、全国的にも美しい海岸として有名です。また、この一帯は、日本列島がアジア大陸の一部であった1億年～7000万年前からの地形の変化が確認できる世界でも貴重な地質遺産です。

この山陰海岸をユネスコが認証する世界地質公園「ジオパーク」にしようと、本格的な活動をスタートさせました。このジオパークの取り組みは、鳥取県と兵庫県の県境に位置する因幡と但馬の市と町を構成メンバーとする「**コリドー21※**（因但県境自治体会議）」が、平成17年に提唱したのが始まりです。そして、本市をはじめとする6市町（鳥取市、岩美町、新温泉町、香美町、豊岡市、京丹後市）の関係者と関係府県が一緒になって、「山陰海岸ジオパーク推進協議会（会長：豊岡市長、副会長：鳥取市長、京丹後市長）」を昨年7月に設立し、今年5月10日に「山陰海岸ジオパークフォーラム」を本市で行い、ジオパークへの関心と理解を深めました。現在、世界の18カ国に57カ所のジオパークの登録がなされています。

私は、今後も広域的な地域連携を積極的に推進し、来年4月からの「2009鳥取・因幡の祭典」の成功や、「鳥取豊岡宮津自動車道」の整備促進に重点を置きながら、鳥取砂丘をはじめとする山陰海岸の魅力を活かした観光を戦略的に展開していこうと考えています。

ジオパークは、鳥取市を世界に売り出す夢のあるプロジェクトです。私たち自身が、美しい山陰海岸を守りその魅力を学ぶ中で、日本初のジオパークの世界登録を実現させようではありませんか！

鳥取市長 **竹内 功**

※「コリドー」とは英語で“回廊”を意味し、「県境の壁を越えて21世紀にはばたこう！」との願いを込めて命名されました。